が終まっます。?! 「関連局案」として併起される紙 曲折を覚れないものと類割されて関連局案」として併起される紙 曲折を覚れないものと類割されているという。

地中海における

相互権益を尊重

大学には、「田東二の間に空く同四十分部庭の間に参連、同十時で表面を設計し、別途内が、「日東二の間に空く同四十分部庭の間に参連、同十時で表面を設計し、大学に関す。 新世族が海岸に市所に着国 あいせられた。かくて職場が記述を、自由の内文官語が記述を、自由の内文官語が行に反の御館を終へさせられて。 西本の部町に加入共しく神宮の流気地を、の御館を終へさせられて。 西下には人連ばざれた。の御館を終へさせられて。 西下には人連ばざれた。の御館を終へさせられて。 西下には人連ばざれた。 【東京電話】昭和十二年政始の御底は四日午町十時上井宮印

全部法制局へ 稅制改革法案

十る健康である
五年公職機構のみを残して無罪と 伊兵五千名

スペインにお ける利権獲得

内・鮮・満・台・南洋・北支を一貫して

こざんすもの」 はあるまいに。

扱くと、そのま 与たお級、歪 お腹みたすって んらもうおつも こは申しません

にお緩の低い聲

を頭用心なさ

總督府の御用始式

野村上年1981 地段闽迎知二代〈謹告仕候也 世段闽迎知二代〈謹告仕候也 藤 根 淺 日 朝鮮鐵道株式會社 原 野 津 石 훒 總 元 次 滑

郎

段謹告仕候

時ヨリ二時心築「下明寺 追面來ル一月八日午该一

別院二於テ佛式二依り告

別式相營可申候

昭和十二年一月四日

東京市福野川路中里町

嗣

大 大

戎 譤

ш ш

雄

=

付御通知二代へ此

日午後九時逝去候

まいから

田

中榮八

敬

作三郎

でさんが躁つて 選ばかりは、 明放兵衛に安女 お続は部かに拒 門の過にからみ してでござらう 落ちたのであ 親戚總代

子爵·進 友人總代 澤

歌 歌 歌

● 小川田田田町 夢茸トニク ●

んせるの歌味

方で突然ばさ りと引き寄せ

四附种给四件五合参与七字参附师或给七件或合七与八字

としては飛回りの心遣ひであらう 果質をため一口とばかりの有質天

ぐつと女の手首を掴んだ。熱れた いきなり和何の太い腕が伸びて

のお派遣ひは無用お

さんが来るか をなさいまし

助りは、ませ

やりましたの りに、今夜は

を作った。 ・ 一般の一点には大手の一点では、 ・ 一点には大手の一点では、 ・ 一点には、 一

· 國際武术宣瓦資子家建志屬此股 建中、祖司人格八中,方台五句 强中、祖司人格八中,方台五句 第年元祖道八松/阿少南宣春地/ 武 武 一 國際武术。這瓦資子家建志鄉股賽

一意拾九萬四千百五拾縁坪一一意拾九萬四千百五拾縁坪 一地寺地八百四名四平四時地の地方地方地方四名四平四年の地道元地形態代明是代明人

とこのもへっ

建中百八平六合四勺

左記金主張(200 以下主公を地震 14 大記金主張(200 以下主公を地震 14 大三 人工 200 以下主公を地震 15 大三 人工 200 以下主公会的 15 大三 200 以下主公会的 15 从下主公会的 例帕式木造豆,百平家或大造器 查

豫而病氣之處客臘三 勳三等大川平三郎儀 **父貴族院議員正五位** 列格奉告祭

氏義正族伊 樱咖啡坛

見せて建つも懸かつてゐる で言いがたたのが水形画で で一番がの中に親せた色が は、イエのが見、などが「マールセイエのが多」などが「マールの で一階信側の後者の整面 には、マニス国が比らか「マールでは、アールでは、

『喧劇弾蛇で鑑大な別格器告の訳上承定を見たので来る六の記上である六ので来る六

『原的神社で盛大な列位

で是生仲間の人類を集めてゐる、先頃

ーモアと観切さが溢れてゐるの

認行所、は「二・不理に大明お

がい はになか 表現回に

聖正城田龍城田神武云河指

「中でいここの国外反叛時

六月に執行

◆○経説師高、異話のルッポの中

職三級るのが属大 関の制数性の世

台舞館住宅地の緊趾な自宅

自然に理由師前から火かつき

『年頭男々の一大師 いこ

美国高の構立も相遇た、紡芸

河南山城西 出溢水子河

◆大阪東京の総合に寄付は歴史 別もなく大インプレ防御・動作业がにふさはしい相場付とみで

続はこくに集建しられた 治町の一角を厨師取り所をから

切られ対用初立皆に出島の金神

年を迎ってい

ト明朗

は明天に忍てされた四日の事始め 遞信局御用始式 日野市が原文版が作業 いちに別るのは、年間九時から仁川窓様代で 製品局では四日年期十時回十分間 大り、比型左横子線りや白龍天に「り大き扇具代表版と「おおの疾患る」に対する様式を表現し個用始 工作 は明天に忍てされた四日の事始め 遞信局御用始式 25世紀の疾患る 12世紀の疾患る 12世紀の疾患る 12世紀の疾患る 12世紀の疾患を12世紀の事始の事態の消火版が作業に直承名の事態を19世紀の事始の事態を19世紀の事始の事態を19世紀の事始の事態を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の中的第一般の表現を19世紀の中的では19世紀の表現を19世紀を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀の表現を19世紀を19世紀の表現を19世紀

の春に

し十二年度報算にこれが所収辞型 朝鮮人 側蓋器官の優遇しむるべく臓を影響を重ねてあるが、飛は一段の開戦を顕得されてある質の準報艦に優勝の具織体に発出したはかると共にしていると共にしていると、これが有意義なる使達に圏向けし、解放せしむととなり本年の景脈の事物艦に優勝の具織体に発出したはかると共に

總督、軍司令官、師團長を初め四百餘騎

けふ轡を並べて初乘り會

く階級部分を寒風に吹き飛ばして衝前神宮に参判して傑行山動物開散へ出で大利町で含量して金市に漫々の馬輪の蓋も高い極い

に拠ったる四百原樹の乗場門は、際に分れ一部は茶島頭より 前内生福件時期に、一隊は西龍山より新装の極い街道を経て

[二三] 仁川消防隊恒例。田製器 仁川の出初式 白龍天に躍る

町の初立置)

で代表観響をのベー助十時線領理 に終つた、なほ五日正午から公願 に終った、なほ五日正午から公願 **闘・同語があって、水平行刊来数をうならせた、駆使乳長の守町奉**

供を修殺 逆上したキじるし

五所の維木林で新を伐つてゐると こと継近、三日加至碧で加密鴻原 てゐたが舊題廿九日午後二時ごろ 部を國豪古著に別り即死せしめた |人に数平的から影響に展常を楽し| 韓雄を振つて元邦君に斬りつけ敗 臣標心加小都北面製石里跳長春三ったのに遊上し郷は持つてゐた朝

喪中に付年賀缺醴仕候

贈出

浦 廣 冶

三名死傷 スと衝突

逐記局給費生募售

果(部)回)

が設工に

出一丁目高階機能に近端部の四肢を呼吸を指いて関係的を開いては、またいのでは、あっと気にすることが関係のは、あっと気にすることがある。

董

●数「東京市田谷成城中央連記練習所工夫議會高空官ノ途ブリ地方議會一月一大議會高空官ノ途ブリ地方議會一月

でし、が水酸へむから途中町の 路で京水パス(随順手金水道沿 日午设入時ごろ京遊線安置一等 車の受難 無燈火自轉

|歩程(で)が | 陽鹿々と| とからか|

を取り押へた

ことのは、三日加小岩で加路高度

(位置) 赞思想点明显第三世 (地) (文 通) 赞思想点解见新闻的 [7.4.1] () 是 (

til 京 進 躍 座王の地宅住

生 (事務所) 博文合住宅地經及 東魏增公閩公本道為丁 東魏增公閩公本道為丁 東魏增公閩公本道為丁 東魏增公閩公本道為丁 東北增公閩公本道為丁 東北增公閩公本道為丁 東北
東大

本院大五一**香** 時入札勢行

年賀缺禮住候

金

思

演

宋四周(『山本相根(『も)3三名が無から水脈が関連合并民業在文(『も) 正言面突しバスに割られた三名は 境火で自襲車を飛ばして来たのに か学は頭を削つてみたよめ間もな 但に水脈直立隊院に担言込まれた 他の二名も大腿部件折り

機關車と貨 顛覆

死傷者はない

告に既り特に置述こて扱戦す 関地科金は羽約の単但配職協 国五十銭既名は一回毎に五十 国五十銭既名は一回毎に五十

ツギメプ軍手

製造家募集

※ 豆口窯内

特別军队

同經二成 報經 百米花樓 橋、配縁版とし、 一時間は 所集 傷かなかったが、これがため 「後三時半」ろ頭蹄駆迫戦ル 金属川の下り切配を

債權者各位

学(行動)

由都当局からその日を修建、 込んだ、旅さんすつから有頭突と なり年階の人々も我事の際に喜ん

人組辻服盗 船員を半殺し

あるが対係都守と山之上署長は

杉浦産民店で竹物をして帰宅の 好内议の『動食要素菌(学)が同意【愛山】土・3二百年後九時争ごえ 構造に要はれ生死半生に叩かれ 僧間の路、から現れた十名位記



相變らず御引立の程御願ひ申上候

・新春かもちやの會共地城の ・初春の綜合陳列會 神場京

おめでたう端書

権総行、小後の所分性、用於1 mb数長、高水原物品投充先顕少兵七八餘餘則に勢働いし、初書の陽光の下に春晩に打架る 在城の軍民交出家運釣門自省が職器に軍員年期九時から龍由 て之か精神を高揚する納所軍及び甘柳郡共同主催の初張的は

城の深川路はます人

かけては日本の将軍由監一といはれ道總費を迎へて重 ~ 臓まりつくまるが非常時の折折を期し

第二十二ヶ寅の主要職便局で取扱、民党に左の類くである(衝銀内に 年代院に好発点を反映してか本年、の引受、総督を含すれば三千敢自 はぐつと増加して参聘しい数学を、高を数へ来作名の生態門底域を 成してある、即も認督局調証によ、取出するものとよられてある、な 成してある、即も認督局調証によ、取出するものとよられてある、な のは、一十日本で会社、自成場合の生態門底域を がある。 比し一州三分増 - 五八通(一州三分増 - 五八通(一州三分増 - 五八通(一州三分増 - 五八通(一州三分増) - 東京城府内 - 中でもの状態)

に月正お

から、國寶・を掘り出して

耕やして聞きながら小津を立てと 生来正直な爺さんは言かな田畑を のたが呼中六月畑を守く時間の光 機質などの縁度格は浸えできい おれて発過が持り上載の場中山

更に其の昭光を掘り返して見ると 主題が埋められてめることが割りって見ると赤形色の真正一尺位の あるので大島議に思つて其國を制

,背後の人物今村您

愛媛縣で百姓をしてゐた

(仁川) 仁川・宮記法僚の仕事

九日より

日まで

仁川署の初捕物

|本町駅の手で検験機局された単治||一艘一段落を告げたお照利と単ご||り同屋安児新農州の両地を置いで||米竹谷の金塊に標準期性として京坂||町地金商県力、石磁の開館基件は||ろ巻万階配の総館機群性と

前町強点連の僕に脚がりこんだ

買方のふところへ二十萬圓

景氣の爆發

各時の反動で僅か養高に一年のも人組体や一層高、主力新原は

登頭を吹き飛ばした三国語である。 道の大き元賢宝を横してゐた明し、らうとの事だ(夏真は朝鮮取用)水密し三個、外一個、記六個が掤(本町碧の手で複数数局された明治・各輪の反動で僅の暮路に「年の)(控集の新平だ、この日新鱸、大)・服ナマはザツと二十萬 近いだ 附と同じの生館:個、別羅一個。 木管春の金鼎活線歴史とここ宮城一番 か一個の節型に置が約ぶだらうて……」と

てゐるが、無力影響事物とは則に日本町署に押送され取劃べを受け

運の鑑き「川川

場所館の銀行もある板様である。 うに奏を受け込み整弦を選弄す

ノ五旭小學校六年生於尾トリス尊い 童心 (三川)山三町

化けてゐるところを検察されて

ートな原行が高さるとカッライベートな原行が高さるとカッライスを生の腕を置くのだ。それも原代の宿田の二般から見える原程を指くと云子はだら原生の行るのが正端である。10世紀では、一世紀のの宿田の一部がら見れる。10世紀では、10世紀が、10世紀では、10世紀がは、10世紀がは、10世紀では、10世紀では、10世紀では、10世紀がは、10世紀では、10世紀がは、10世紀では、10世紀では、10世紀では、10世紀では、10世紀では、10世紀がは、10世 一合年は先生の鉛も殴れます

臭れるまで、週間はかゝるからわ 致れるなんて駄目だよ、こもらか せ」といくは「あ」、僕の籍が

心臓の膨い男とみえてそのまま萎げりや表から来い」と一喝すれば 五七李劉趙氏方でもガタコトと次を駆した。と聞もなく宣城門空町

けふの天氣

松の内でも

7.二種更能群でもが正方の一種機一致が鶴出し豪を晦した、『まあ一四日年前一時ごろ宣域監部町二八一鑑か』と、どなると暗の中から騒

今時中趙でもあるまい、置表献し も際に用じてるやう養熱では趣つんとしてゐる佳識を鑑起「ヨラッ」 わらつて源玉は雛のから続の母で郷で輝名すると、戯門をこち明は「棎」と浮かれてゐる眷家感の願を

上の

但し一 二階は

午後九時まで受業

ま午 で後 渋 時

る飾を頭劈春新

◆新着家具初市 畫

仕奉初·值初·市初 ◆ショール・毛皮一割号

◆スケート割引奉仕 □ ◇鷹室內遊戲用品□ 全鮮生徒

◇婦人服初値大奉仕間 書初め展覧會 於 六緒キャラリー 後援 京城教育會 主催 朝鮮教育新出社 い良の起縁 万 財 春 布

今日 | 崩錦紗|割号 | 電

二十圓・三十圓・四十圓: ◆織丸帶旱調均一會 本年もお買物は三中井へ:

事件の表

11年 参本以三へ議所國籍を通信等ノ清郎アリー会議の議院期日 ||三月十九日、二十日

の存に

トラ機嫌

無本。 直相級毛宝、工品由本商合款 直相級毛宝、工品由本商合款

と同性に選起がには発定に振き二

一千圓の心褒美 われてはいかねとの腹部から像液

全部各地とも増加を示しこの分別がに比し一側五分増 判者 一四、五二六、七〇二連 制作に比し一則三分増

は本がに古物趣見の手間きをとつ 凡強所機能在所に翔け出で共命で「物であるから劉泰に帰臘せしむる」の出されたので正確な仲命さんは「右古物に高麗時代以前の貸金左右 てるたところ比松本有果物局より。不則を耐臭することになった。年

電信電話

副は

事を心懸し

喜賣局長 快

てより民衆的ならしむべしと 選、正論はお高め、

通みて埋漆の萬歳と皇宝の頻榮弱呼益ると新蔵を迎ぶるに方り 年頭 所然に代へ我が明郎

益々その運費をして時代のよける界質事業の推移を展望

の電報に對し心交上の接種に 国禍福に帰する電報は従来

まざる時運に

に於ける背景通信施設を統制整備 に同省内に施設してあった背局電

したことも特望すべきことである。| 様に於ける第十一回国際オリムビ

前して昨春省都に於て勃起ー

の事質である、併し作ら今日のラる貢献を貸しつ、あることは履知 チオは単なる文化機關として許り

を加したいと思ふ 、郵便關係

り管に係る哲中中の顕著なる

約三倍の多数に上つたが、豫算の

角線と図酢の無弱とを配ぎなる。 く被折の氧に繭つo肌をて、型帯の

合一し屋市監部規則を制定した、 の取扱をも属すことに属って居る 因に朝鮮では鹿形宝器は諺文電報

文化機関として國家社會に甚大な

上雅理院に共の麗奴内の航空施設し、突跳帰國とも接換し居る職機 朝鮮は内地と前別との中間に

民間航空施設は内地交は隣

何を加へつゝある 放送」乃至「國家のほの放送」

Ø) ili

元

植

本田大

禧

屋旅

協館

佐久

間

靜

扶

餘

郡

校

斯長 南 扶除那獨岩面

基

小山

伊三郎

同管內司法書上一同

遠 川 出一京城地方法院

李海院

載

部語し四番

定置所 好

裡里東拓農場 熊倉新太郎 扶餘產業組合

林田

久仁

男

公置

張

窺岩研究會

主備

養 **基**富富

郎作重

藤富十二 森友正 鶴

城

連山面職員

本

盤

·興

產 電話二五香

社

金加州

鎌

倉前

富橋

郎郎

内田東拓

Ш

農

定三

細目精米所

協心戮力以て國運の

發展に寄興したい

遞信局長

H

一、爲替貯金

し得たことは今間吾人の耳朶に残

釜山に、昨年は平壌に放客局の政者は七萬名に垂んとし、一昨年は

今や簡単に於けるラデオの聴取

く極端せしめることと思つたから

、朝鮮簡易 生命保險

江景土曜會

論山穀物商組合

技能學貿易返週所

運送株式會社

動車

谷醫

商

店

超光榮祉

川原利三郎

所長 高 **畠 仁 平**

石本

盛

治

鶴田洋服 鼠略 (ツ) 交はッルン

店

局長

が場合を表現しています。

H

定

繁

會

植樹樹

村

Ŧi.

郞

松浦忠三郎

同

内地との船両連器斡線として盆鮮線運の局線質板に伴び同線車 管航路距水下飜線の配舶を二隻に重大性を増大したのに鑑み、同じ つては新設線はなかつたが、南 亿. 南朝鮮電氣瓥

西島

松永

善

松 市 一 村田 人仁

榮郎吉男

山 支 店 字 警 社

上村重 建川在鄉軍人分會長

兵

衛

江景出張所

釀造所

論山面協議員

能 星

野口

精米所

連川醸造株式會社

盤江

一 荒 卷

醬

油

梶原

精米

所

白江

俱樂部

禹

柱

平

井

信義

· 企 元

のべき蘇聯及支那の動き、内型

同棱

扶

餘

廳

漣川學校組合

開来業 **命**





論

Ш

郡

會

議員荒 管理者清

服 部 官 富 市 市村 吉 次 郎 正

思清南道部便所長官、第五屆向上資 林川、利仁、鲁城、論山扶除、赐若里、恩山、湖山、湖村、石城

各郵 便所

論山郡(學)初等 述川自動車部 道倉議員
朴

目目

烈

學校

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	W. A.
	連川郡廳職員
	同

Ē.	
	_
漣川郡廳職員一	
问	

九	H		洙
	職員一同	周盼授產蠶業調習所	And the second s
	漣川郡農會	}	AND THE REAL PROPERTY OF THE P

江藤小三郎

今野長次郎 職員 一同 洪 颞 歌摩

₩ Æ -1	大百四萬-	- #	(可認性	9便郵租三第)	戦 日	城 秀	K		W \}		月一年	二十种幣	Test 1
V	教育	Te !	F	11	茅盾		1		Š				
本浦稅務署 一 同	oo 森田 商 店	木浦無盡裝會社	二木正吉	木浦警察署		富永船具店	水無支点表 淺見一雄	· 建聚间田組	歌樂藝術發物	守田 干助	雅 員 一 同	富永商店石油部	水浦無線電信局
大風(物)產薪會社	南一運輸裝會社	· 中村 勘 三	職員 一同	職員 一同	Manage 1987 1988 木一下 商店 1987 1	林浦郵便局	三中井木浦支店	日鮮海運營社	木浦開業醫師會	日華製油等會社 木 浦 工 場	新宮繁雄	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	內藤萬平
沈忠忠	金元亮	金鴻植	本浦府錦暦二八七本浦府錦暦二八七本浦府錦暦二八七本浦府錦暦二八七本浦府郷居四二丁月	朝鮮棉花	木浦	電話三四·擬 木浦電燈株	木浦府廳職員一	木浦穀物	木浦穀物商組	水浦米	木浦公立學校長會	水浦商工會議	木浦
公立學校長一同	松本質一一	木原隆良	全南棉花株式會社幣網灣	朝鮮棉花株式會社	農談會	木浦電燈株式會社 精電燈株式會社	職員一同	木浦穀物移出商 ^組	初商組合	穀取引所	學校長會	所	金曜會
崔	黄海道安岳	元 道 安 岳	公立學	安岳	安 海 道 岳	金 選 安 岳	學校組合: 到者	海 加藤農揚千拓工事 黄 道安岳郡猪島	加藤	A 16 玉乃井旅館	雜	崎	新生活 医生物 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基
昌林		孝	公立學校職員一同	郡農會	郡廳	農場	岡田 謙作	谷組	農場		朝鐵安岳	張 鎬 容	★ B 洪 潤 張 燦
金、以、根、商、店、市	明明普	白川の運送部	自川自動車部 龍門子養 院 鹽子養	本		白川 製粉 所	中 川 穀物組合 田 穀物組合	中	中川精米所	Ī [海月面 李 承	柳盆似里柳盆似里	李 章 章 權
平安北道農村	定州郵便局 定州郵便局	1	1	平北農事試驗場	定州金融組合	定州郡農會	定 州	18:		安田清		Ī	自制製東版
火 火 場 一 駅	會 計 橋	1鈴	渡內塚 灣水組配下 邊際 原	·	東草港 無類系化販賣	土木課東草出張所	大浦漁業組合	温井里支局大浦駐在 記者	力武	定州秘清亭飾器館 電話五三番	朝鮮石油株式會社件	東京・山下二治郎・神経線特定州支西・中部・東京・山下二治郎・	全点企业组子 全点企业组子
·朴···································	本 富雄	- 14	道 長之義 作助親	惟和	惟 成 龍	兼清	村 裁 長 藏 東	木	高 正 彌	管業所	定州稅務署	京	定州警報報
順城。普通學校	所用從其世學校 合德並書通學校 合德並書通學校	德川	合 德	忠清北道永同郡	本 相 夏	永同稅務署	を生き 株理 大慶 水間繁栄養 大慶 水間繁栄養 大慶 水間繁栄養 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大	宇都宮善市(米 間)	永同郡農會	歌 漢 城 銀 行	大浦金融組合	新度製造室 新度製造室 新度製造室	取 員 一 同
高橋 正一	中国 (中国) 中国)	水利稧	消防組	公立學校長團	生 一	整疆南海 社大興電氣裝會社 水同出張所	東洋金山縣製跡所東洋金山縣製跡所	河比市类學計	福山水利型会长 福山市外型会长 福山市外型会长 第山市外型会长 联	本周岛內 市 會 亦周岛內 市 會	京都區 城 制 雄	永同警察署	*阿曼德里台湾州省 中华和古巴第一门部
3	MC o	6 €	8 F	~ <i>[</i> /~		M	₩ •)	88 - S				

幸民 Ħ

の過去四ヶ年間の施成の大綱を一 言にして云へば、ニュー・ディー

はハーズヴェルト大統領の既倒的

トン知事が共和国の企成湯池を誇

之に反して民

新大統領下の 米國は何う動

ても先つ和を明ることを忘れては 恋に於て自分が日城殿も開 近

衛文層公新年試筆

情勢に對する正確なる理解と認識

勿論だが、開発政策として互流 天一酒紀分工場

れて国内産業保護の国際人類野

電話人 二八番

京

城

食堂

組

合

師 原 塚 塚 塚 塚 塚 塚 塚 柳 師

京城本町二丁目

丸三毛布店

製森品永

朝鮮販賣眾會社

職 員 一日 製物檢查所

1 聯體體質所以發尿 職員 一口朱安出張所

月一点編月

京城府旭町一丁目 電話本局三〇八四番

京城府漢江通七番地 Щ 信用

組合

咸北土木建築協會 羽鮮羅南本町八十四番地

電話長四二二番

職員一同 安城警察署 カフェ 理事 山地 ーキング

を あ 尹 在 喆 運輸株式會社 振安自動車 **職員一同** 安城面事務所 根誓

満夫 獨津漁港修築 官 期 公 吏 成

慶北星州郡內

同

會

統領が最後の四ヶ年(米國では欧

児克服に成功し、労働者・監反のアー共和威略的の失敗せる証許不 歴、館路をも隠僻したが、フーグ 上を許さないのであるから)如何治上の問題として大統領の三辺以

功能は逃すべくも無く、ルーズヴ

東光商會

[集] 三九一·三三大九

ラ

新妻 **朴** 容

同

タ

キャロニ IM B 母 歌母

朝日釀造株式會社

仁

朝野一

一致の

和の完成

非常時突破

の要

公爵

近

仁川府 糖智能 仁川鐵工所 潍

電話二三八番

職員 河野商店 職員 河野商店

道立安城医院

髲 竹村

榮

京都安城等前



勿論政綱は政 職の表

り職事に持言込まれぬように別の推算に検言込まれぬように別の非別を調う。 優正中立を関の事役を講する 職能事に受別、侵略職事に不の職事に反別、侵略職事に

貝

腦頭波佐間浩造

川港町近ノル

郡

膔 同

泰

三好野

旅館

取締役支配人 取締役社長 安城鐵器製造

立 山 榮 吉山 口 恒 太 郎 四和證券株式會社

京建道安城

朴弼

秉

尹喆周

一田 原秋三郎 白 井 友 之 助 中 大 之 地 準

支配人 徐廷智 與一般行安城支店

翊

一川花房町二丁目

京機道安城

斯 斯 斯 主

町安

四城

マ部

城南電

丁社

京畿運済

透露會社

永柔面各端署長 **平安宿道平原郡**

東亚語分类豆类百姓 克城語分类式會社校 山 主 計 卷 计 義 行 极 山 主 計

er PM 京城美容美髮組合 條 新 FH 榮 艾

東洋貿易商會 聖法法 三百八二六帝 安城酒造論會社

龜大東百貨店

東田隆次郎

間間 呂# 相

源

野 口止 ^南水 町 郎

龍山小寺合資會社

京城府龍山元町一丁目一二

會

羅南火曜

料理

和

亭

會株 社式

東

番

電話本局八二五

京

城

新 雅 雅 和二

電話二五八六二番 園

商業學校 長等 長等

專門學校長京城法學

渡中鷹岩 邊村松佐村藤

苅

濱信寅龍重銳剛 吉治松種一吉藏

羅南炭礦株式會社 輝

山佐

羅南公立學校

職

員

同

道子

始め智能に立ち、その後難ら、

白き富士の根」の女教師、独立な一限す、張の質似が俗語、三十七歳

如は別別、二十五級

珠一子 剛體の

夏川大二郎東京の生

金 Ø

李昌

大

邱

稅

務

署

盡愛會社

大邱

料理屋組合

松

前

倉

庫

大邱製氷會社

大邱朝鮮**酒釀造** 株式會社

果物同業組合

堀越友

郎

是山田北北 新三九五番 北五番

共榮自動車等會社

简

組

大邱朝鮮酒酒造組

その他郷戸取出

同合

智

一次三番店

大邱府田町三十五番地

大邱無盡株式會社

大邱府本町 易

山

大邱タ

クシ

沿面面會

九州監

杉原合芸育社長

長

大太 뎨 郞

府

大邱村元町二丁目二番地ノ 內鮮運輸整會社

青木

顯大邱映興商會

方面

店

直

弘

大邱地方專賣局

員

同

官

吾

十 屋

傳

作

淸

过过过

大邱卸商組合 石

(麗)合組館旅邱大

立田唯吉渡大ホ花井市 花中屋田邊分 屋上喜 歴史 屋デ 旅族旅族族族 旅族族

學校

被照 府 居 酒 造 場

大邱府東門町 松 商 會

電話長二二・一七九番

大

長會

犬

古谷治輔商店

牟田口

利彦

大

邱

郵

村 朝鐵自動車與業 監 素

同

大邱印刷合資會社

布村

大邱商)

上會議所

守屋

柳

治

鏡

質館

鳥

大場

明

職

館館館館館館ル館館館 森備靜島不丸桝中つ 田後屋屋^知嘉屋津た 屋 火 旅旅旅旅旅旅旅旅 館館館館館館館館館館



在してゐるわけではない。 が避い、既は狭いといふだけなのに相ふれてゐる。ただそのふれ方 が、言ひさらなことは見書がつく 丸つきり 激まないわけでは ない をいせいも見てゐるわけではない ゆかない。あゝゆうものを腹んで し、副んでみると質問その通りな に独言をしたが、断に確実の論版 同題が云平は論識された。僕もさ でもない、やはり社館の問題と常 門がみんなの問題になってあるか てれだけに、雌蕊を讃きないでも ようとしないだけなのだ。 しかし しも人跡未踏の山の中にあるわけ 当から避難した佼在であるといつ日本の文座配館が如何に一般社 がはしいいない。文堂の問題 てにもなるかしら。 文字通りぼ 態どんなものか耐んで置かなけ 本の古典を離んでゐるんだ。 埃は近原省の本を置んである。 一人一数五 政治や部門の動向、習俗の 敗は狭いといふだけなの 古典文學の再反省 と介述知らなかった びまるでほんだうの 年頭の文藝時評 とか「曖昧出事」とか大體就話集した代物だね。僕は「二十不孝」 の精神生活を知る上には大阪面白 つた。からいふものはつなけて深 んだが、かういふものにもやつば り不敢に面視が見える。最話集と は男子女も何かといふとすぐ泣く がないからやめる 芥川などが今 ってるたといふとだ。源氏物語で 文型の一部によって修進したこと あった。新しい文學が全く西歐の あった。新しい文學が全く西歐の 界を築いた。批評家も西駅の文器 いふやつをもつてゐるんだつてね 団を今月から見れば持つてる。 本人の作物といふ紛を方のない意 にあってもそれらの作品は結局日 る例気に設荷郷に配るものが多か たちは正をとると目然に歌や解析 にはなれなかつた。それでも作家 さらいふことがなかつた。自然主 もつと出て来てよかつたのだが、 や時には一般時の世界にまではいり ったか、さらいふのを屈腹であり こったければならなかつれの 日本文學はやはり日 菱畝畵 は一時間かくるところを十五分位 おも知つてあると思ふ。つまり目でも大きい流があつて、順立したとは反がから度を言つてあるからない。一般の地談との間にいつま 総職はどのもやうのある無い彼付 校へかよった仲間なのである で駆けつけたそうなもんだ。そこ「作るのであるが、古典文學の報度」 年月の間にごうなった状態に数十 本は西歌で書間題が何百年という んな結局小側への運動だといふこ き、折目正しく者た要は、きりょ おたがひに水緑のつく他を着て壁 それらやべつにひわくつた際では 後の問題とかあいいふものは、み 総の色はえび茶であった。振曲の 問題と、記述に関心の問題とか数 お正月には魚の木織のお振軸を ちがつた心気をもつてある。 郷里の欧川へ建文して織つても とうだね。しかし既はもう少 意見にはおなどもずいどんで **がおお式へ行ったといふと** あいか もいだつたのでせ 水ではそのふだん着を、父一主供こころ う。あなたのお父さんは 細上り着せてくれなか こつんな水網を着て青 生以がでかましくて 加な感味があるか 公はれる事が折々 自分の幼時の思ひ だだもで、このあ も出てきさらだけ ほら私たち もめんとい 初 の遊離性といふのはつまりたしか ウンスキスや英國で一時全盛を任 ゲルンジー及びゼルシーの四極を スタインフリーシアン、エアシア、 に餘る뫮あつたが、今日ではホル 文してこしられてもらってあたけ 動といふものはつまりこの滞埋め 存在となってゐるのだ。平衡の運 さういふものは結局質を結ばない 何でも終し入れかことをいふので ろ文學にしろ向ふの新しい運動を な地盤のないところに、突断にし 代表的記中と一定した。それに附 つてゐたらしい。 れど、紋付の方はそんな手数をか ふだん者の手腕曲はわざく 筆隨 乳牛 永年牧夫として經過のある人でも 一べき優形である。牡は反射に他艦 でないが、精神な変をしてゐる。 きくにつけても、大したものにも かではなかつたのであらう。だが の文型をその程度にして置きたく 使は無似値とするものではな 姿勢雄大、剛段池番且聯力絶益で ジーは別に人自を惹くほどのもの は、から女中も家中が興奮して、 がひないと思はれた その種の物名を得もわびたら もしれない。 質素 上版は北海道は は金質能にゆきわたつてあたのか ゼルシーの牝は皿とも見まがら ー牛の牡に對しては、深甚 壁の試験に反應が無いと観表してかけが戦情もモルシー種には結核性などは一頭も無い。 その選任の大部分は父方にあるの **計質実に 世牛の影響を 聚る もの** 世間では、やくもすれば牛乳の だから、牝牡の價格は青葉の差で **殖用に供し得るが、職性となると** とするが、これこそ歌戦不足で、 初めて自分が良女に生れなかつか ある。それに牝牛は普通一般の便 くやしさを、母にしみて敬へてく はいまなほ忘れ難いのである。百 分で自分のものをえらんだ最初の 心欲なのだけれど、それは木織の 姉はその様をいつもの通り芸生 つたら精神は二倍に致します。 紙を慰賞版にして機械して下さ もらつて、大きな艦のめでたい ませんか、そのもみくちや脱り 定くといる風報お書きになり これを開いた機能な(?) 以はね、さつきから脱脚科の語 ストしよげ返って退散した ナリスト階を移さず 精神と指金の計算で仕事 ませんでした] と記身 んか、どうも、容が向 言に事中を騒がし めくつてもみり りのジヤ 咸南青海峪普通學校 咸南新昌20尋常小學校 咸南新昌里亞普通學均 成百利原那监测苗 林 瞹 池 遮湖漁業組合 韓 員 員 邊 廣 秉 健 日 明 普成自轉車商會 普成自轉車

商會 成鏡モータース商台 株式 會社特約店 **騷西松組際出張所** 籃 カフェーオリ 興盤 入蔵商品松ヶ技町 興南郵便局長 料理 書 减陷與南邑本町 興南警察署 職 興南商工 間組製出張所 東 興南松ヶ技町 非 北島和 水 員一 前田長太郎 職員一同 奥 遠田理南遊 宮崎太傳治 **密斯威奥朗日町** Ш 良 范話一五八 銀 オ 行 御料理ランゴ 理 辰己自轉車商會 金宝明岛 端川警察署 端川流、業組合 则級咸海線了佛山驛前 奥住 薜 北鮮 香 金 端川郡波道面 宮 金 赤 和鬱]][熨 हेम् 員 本 運送 部壽雄 商礦 電二三九番 守 洪 弘 [] [] [] [] [] [] 那話 | 三〇香 潤 花 盛 大澤商會京城支店 乐城府京町十 本共立火災 東亞工業株式會社 本採鑛株式會社 鐵道局各課長一同 京城酒類卸商組合 文 京城本町二(電話本局五七番) 新 聞 舖 F

ら事情を述べて丁喋にお動りすれ |折思||く出席出来ないやらな||愛場がありませんし年配の方が唯 上手に述べるのも切り上のやうで

情で遅れるやうなら、その由を前

|春さきのドレスのモードが、早々||その證據には、今度スカートが短|の確となって居ます。たとへば原

アチラ話のは

くなつたのにも次のやうなもやん

けにしておいた方がよろしるござ

Harris Ha

春先のドレス品定め

ひすることです。若し候儀ない事

もつて知りせまする

スカート

かわからない。時や服装の

とう云ふお客様かお見えになるの

も宜しいと思ひます。そうすれば

早くい話題

郷になつてから出歴することを光

歴りませず…」の程度で宜しい

でせる。その際居れずに御招待の

折ですから、整備を作する語や、

話題 新年早々ですし、人々

その場に飲たらかして、結局出

三インチ見えるはのが一ばん尖端 くなつたのです、アンコが一二、 別れず、魅りました、つまり、短 観察に疑るもので、今度も、例に 此の長さこそ、全く猫の月よりも

界といへども、散にスカートを伸れ、尤も、いかに領までれな遊行。 は為(?)にはちよつと恐慌です は、だち、いかに領までれな遊行。 がらしい、さあ、かうな后と、大

流 行

器のラシャ紙に鉄を入れて凹い ペーパ (階) カツティング 正月の遊び

ちに切り込み組をつけて面をこ るでせら、猫でなくとも牛の面

して下さい、砂糖と水をさしてど ろりとさせ、際を少々加へ甘味を「ひません)まはりが孤色にふくれ

の一般の事についてはもう自分達が日かりを自分の観に優けた場合、結 ばならないことには自分虚が受け 世の控制がなつてみない所から

姫の出来る時代はやつて来ないの

だしをせぬものときめてしまつて

酿

4

をおくらさないやらに力を添へて

遅つたことで れは非常に間

くくく己れの娘を知つて不足の所 一七のまゝにせず、短册形に切つて 終り頃には芯が取くなりますから

本人についても手のとどく限り間

す、紙に取り、繋い所に、紛弱で加い素でつた中へ入れて揚げ

いか、それとも道園から頂いた総宅でしたら一を何も持つて行かな

思ひます、目下の方からの招待

いものをお傾けする方が買し

なものを見削らつて持拳以します

が若し目上の方でそれも大きなお

よばれの多い正月

招待を受け

これだけの心構

反人なら何か適當 お客が多数の場合は誰方も興味を をかけることになるからです。 康滋とか確く機い 「語源はざけなければなりませ。又 」けや何かに差し添りが出来て 「現在とか確く機い」 「語源はざけなければなりませ。又 」けや何かに差し添りが出来て べて御いとま改しますが、此の際 福館に入れてよくノーすります。 皮をむき金額で叩きつぶしたのを 水と砂糖を入れて火にかけ、高砂 (その一)ココアを水で浴いて (その一) 落花生の炒つたのを

滑はしく増じた香茶に熱いお湯

大へんがくなり、したがつて、見 うまく黒といつしょに使ふのです、つまり ックルをグリーンで合せるとか、とした別由があるのです、つまり ックルをグリーンで合せるとか、

大きなボタンを仰々しく附ける

印が行いから、腰士郎のやうに

慶尚自動車部 代表者生部又一

職員一同

景

繁榮會

日岩金融組合

中原

計正

北任

田田

新

郵

便

肵

朝鮮產業時會計

葛那

仁

金井蘆洲

久野

逸三

龍仁郡

農

一同

西省語見 谷口 豐太郎

宣川郵便局

源羽鮮酒造 音

高靈警察署 職員

同

龍仁警

察

職員一同龍仁郡廳

國武農

場

宣

川稅

務

害

宣川金融組合

からなると却つて近虚は無糖と、 田舎武士の面目(二) の跡を賜つてゐる大名です。それ はない。時の将軍家師顧後一萬石 現も何も先方は高常の壁刻を

過靈面職員

可

龍仁金融組

土 肥泉

醬油酸造所

紅景穀物商

翌日荷物を据へて、

一馬麗にされた門人違。その平内が た歴人とて心を窺めて思ろにもて

> 雙林面職員 茶山面職員

龍仁

稅務

藤戶政一商店

質別

源

興

T

蓝商

九雷會

貝

一同

江景

出張所

宣

111

郡

廳

中谷面職員 開津面職員 星山面暇員 雲水面職員一同 德谷面職員

職 員 一 同 龍仁出張所

· 村忠市

平

安

^画所

小城地方界贸局

賀

倭

冶

玉麗麗

蒂振

層だ緊急、天下一の名人に相違な やうな隆速に巡り遠びたいもので あく武士に生れて一度はこの

対目蔽人、銅眼ト帯よりは、一定上泉中勢守済前の四天主の一人、 中型 10 年 10 日本

人與正氣高輕出張所

北屋

^技旅

ヶ舘

新葛金融組合

江

備冷兵衛

新来華 二信 **高**會

仁

濟

病

院

趙

行

測健次郎

ップアンンワルト 製作専門 **商工鐵工所** 製作専門 **商工鐵工所**

仁 凸 岩

川精米所

占

平榮十郎

旅館

Ī.

猪二美

佐々木

幸喜

宣

III

NA.

品品层

宣川酒造料會社

電話一二番

仁昌 市 븝 我 **濟生堂**

高靈部教員會

M C 日 岩監學 W 源三郎

崎朝雄 山村語 宣 日 \prod 永

電 語五六會

察 署

代行營業所朝鮮運送營祉 宜 Ħ JII JII 會 館 邑

望易**商信一商會** #朴義京



建設の槌音は朗らかにひょき

資庫の扉は開か

 「「「「」」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「」
 「「」」
 「「」」
 「「」」
 「「」
 「「」」
 「「」
 「「」」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「

 「「

 「「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 安義南地の関塔に既往一ケ年を脱脱すれば人口対加地路ボイントを確保する安泰、京義南総統の接種統組和工二年の新春を迎へるにあたり日補連路の進業昭和工二年の新春を迎へるにあたり日補連路の重楽 **鴨豚江の大河を挟んで北に安東は第二ヶ年に亙る鰯によさはしい大威将の出坡に努力しつくある3段一致鰯いの下に着々と進行し興路は嶺南圏の接** imの賦)による征安指題の意業促進、日函選群原記示された那人通出の慕くべき對重をはじめとして を地で行く同境安美の緊囲なる観光掃機はは領南による時日、製造関係の均大等が河一州の最高精 が題の祭業促進、日朝班所提

既々として推認されるの結婚を派し撤進門第の工業院一大総版を結束してある水アルコール [74]、特徳所、鮮銀支庇認節が代代協同の指統を源る仏學芸術が

滿兩國

の握手は

つ密輸清掃から

第一線當局の撓まぬ努力によつて

十数年來の難問題を清算

飛出とともに自溺を築く三大戦の一としてわが早島の別称となり空義府地の繁元を削すべきは勿論、ひいては県南浦の戦略出港道の別称となり空義府地の繁に別して待つべきものがある 機等今十親金の時代は過ぎていよく。建設に入らんとしつようで、しかもこの機能互動を認識値に交替に二十萬キョ、本流百萬キョに及ぶ網線にの大震流計能を表彰が親金館に於て起表された新美州、中江網川四百十年外數線の江岸振館の裏更に新巻より本工事に費手する問組の解析に発展、非政十月總督府忠健の墓更に新巻より本工事に費手する問組の解析に発展、非政十月總督府忠健の墓 のみならず實に且確認済の提携の上に大震災を促し、東に顕微、西に大連進の

烈一知と押し役せる日前配置指版の巨大なる世帯の中にあつて最も多幸なる新 飛器の時来で一の聲は安凝に弱も光もてゐる、昭和十二年の新春!この後こそ 在を約束されてあるものは彼に関境失過だ。今こそ「開けよ対解の師!」 この天戦の智軍の節の前に全員これ力となつて明

惠まれた諸條件

日満交易愈よ好調 新義州科關長 池

ろ 真易の進展に



斯森州海绵出版所

髙

橋

春

表

谷

佐

45

尾

郎

福電

闁

旅

Ħ

舆 产館

は相當難色があるものと見、緑黄方類を割るに至りその結果師、両はの名を記憶なる総博して身外間は現在紫葉中なので異数。て、各國ともに避って國家主義的。一年中に於ける欲能對統領に職進一。國も地の利を都てゐる所。應定局出してゐる、之が對派とし、朝鮮の對純を通機するに昨明和十二

出は八百萬圖(一割二分)様人は百萬圖立之を順平に比較すれば像 位一千五百萬興 合統一與八千 内温質量の移出は五個一千二百萬八一間三さの増加を呈し、一方間 なるものがあつた、即も對外的資 記十二個五千九百萬國で助車に比 出入合配に於ては、下二百萬風 一手四百萬國(一型阿金)で、 四、移入以六三四千七百萬圓 能に放いては、他二下四百時間 平壌地方專賣局 朝鮮防腐器量社

平北穀物協會

利義州真砂町五丁目壹フ拾四

新義州府本町四番地

國境商事株式

會社

和義金融組合

蚁境勞働組合

鴨綠江木材

產

業

組

合

東に非様に上の夜回通に難止に取り数を示し、ことに参拝の概であつしてある。一組合の擔當商城中均四年 が、 田に上り過去に於て最高的野を心 機能過額は服が土土域四千七百年 別外國、財内地を合せた極移出人

して興奮と於うる影が地球と変と、足らすとなり八千から一貫人にの、米影像の波に確つて観音を次のや、とを物館でもので爆放金属に組むいの事事件を惹起して観音など。 様 けって裏の影響表に構造三千名 の雄火をあげるものと加音されてある 積を持ち傷めて不利な立場に対しているとは非単常数 長の名訓示等結婚前極に向つて能 質をあげるものと加音されてある 積を持ち傷めて不利な立場に加か問題である。 遠去十鬼非難変数 長の名訓示等結婚前極に向つて能 質をあげるものと加音されてある 積を持ち傷めて不利な立場に別か問題がである。 遠去十鬼非難変数 長の名訓示等結婚前極に向つて能 質をあげるものと加音されてある 積を持ち傷めて不利な立場に別か問題がである。 遠去十鬼非難変数 長の名訓示等結婚前極に向つて能 質をあげるものと加音されてある 積を持ち傷めて不利な立場に別が問題がである。 遠去十鬼非難変数 長の名訓示等結婚前極に向つて能 質をあげるものと加音を次のや とを物館でもので爆放金融としての金属に担立してある。 遠去十鬼非難変数 長の名訓示等結婚前極に向って能 は異は由追儺、天徹に移動、現は、境景所架に一大利戦を興へて美権、背出一千五百萬國で近き将来が北国るといはれてゐた陰時群の大半(ちた語歌を見せてゐた駿別院た國(夏三百英国、組合武外七百萬国、 金銀に全世帯数の七割といい取倒 作金能がりを認確するもの

村 有力当の破壊的協調、 今日は、野球出間の、 ・ 一 の調査に下水源の可及的完成 ・ 人間の可及的完成 ・ 人工工工の動行と立連日 ・ 大川では、 ・ ◇四年犯証者の唯一無二 鮮丽・如化 ・明雑込の 汗 祖 正 者の唯 一 無二 (義官議論に居間の報告と新設 教義州市街の一部

市計畫確立して

鴨綠江白魚水產品

横

畑

幾

久

新義州電氣器

會社

安東縣旅館組合

イロハ姐

電話五○立 館

鴨綠江運輸料

支配人

中

西

豐吉

電旅

新義州公立學校

長會

兩門發到建價與門角性循

頭鄉

袁

新義州旅館組合

クレオソート油木材防腐業

程表州本町六ノ一管地

新義州料理屋

営

業

組

合

土地改

八人

電

新義州出張所

松

乃

寮

取締役社長

×

明

戦事を激起しつくあるには原内閣(o、しかも現在)子名足しずの衛、器質職等もものと順待され精験情ある精験にを続て、結婚に終りok(思の革も高落の一途を辿りつくあったしい明朗都市の終済終建設に一大・「大学 o とますす。

わしい明朗都市の經濟的建設にで要求イントを確保してゐるに言さ 福地 に戦車に乗つて月前路の重

とに安戦取締第一線階間者は「既は他地方に移動せんと古るの形」

土道の光あまね

に樂土實現

等多き康德四年の春を謳ふ

安東省總務廳長 別

宮

於てしかもその連繫の疑案地帯で でさしも歌節を終つてるた例類の がでなければ、らないは、頭角圏に しまいずを終つてるた例類の

正常に復居し位が学ヶ年を出すし



ではの高温で好な使か揃って眩したに残るものであると企画別で0度コンデジョンに次の簡混を記したに残るものであると企画別で0度コンデジョンに次の簡混を記したに残るものであると企画別で0度コンデジョンの の周進できるに至して学通り周囲構造がを流騰するとなった。

唱

安工作に伊ふ期間部の建設、署り過ぎし一ケ年を願みるに一、治 窓に属門四年の選生を辿れるい路

金組は全鮮

農家世帯の六割を獲得

平北支部鼻高

鮮銀支店

感よは開き

備道路の開修一、

看々實行にうつされ横ね其の禁定

アトーとして港内「圏に亘り町団」数の四割四分、野気推帯散の六一路有援興は金融組合から」をモー千六百九十三人を募しが北空世

公布により朝鮮に於ける神社のでありますが就中非夏八月神のでありますが就中非夏八月神哉と解析は今の

信

正商

北 合

道 聯

紅

電流

平安北道高等官

安東縣銀行集

會所

署 李源有

電話長九〇八 電 組 新 義 州警察

平安北道各金融 組合

平安北 道支部

関ロ

聰

新義州稅關職員 新 義 州 郵 便 同 局

會

多獅島鐵道森翁 精三曾 三郎社

地

中村美質

新義州鹽賣捌人組合

新

義

州

金.

融

組

合

州 廳

日村ろう

組合

卓 日日日

好防次

くろりのいまする

ときをある

如玩地

しきものがあり産業に、今中陸運の批盟は質に限

如の旗下で 新春に覺ゆる力强き感激 **「國境道** 如の大師は著しく内外の路 平安北道知事 美

俗に置印し施政二十七年にし一般にますれば二千本同時は及 少地野を我が半路の現状に し欧快措く能はさる次

海に山に躍る幸

關係書類十萬通を超え

『産業部』い創設が急務

誇る平北の産業陣

境河川の架路締結築粉に宇島する交通の大動脈たる鮮凶國 原に 日報目呼の大郎を概點と大資本の投下を見るに至り、

い次節でありまする

して一般の依安も許さざるもれてもいるとし常に我からなっつあるのでありま

流

こを思わするのであります。 する明静山の栗根及道路に上 対岸市安の勝正とでかて完成 芸術しきるのあり 更に心田

来を想ひ男職一番、時運に遊ぶに新春を理へ既往を願み時

i F

李旦迪

雄

产多洲

常は之際諸事業の受くべきは受 たのでありまして之が復行は勿 監機を備ふるものであります は天明回境の文化都市としての

立版な通知と解探機器関との旺 優良船大量建造

の一以上を占める火田民三十二年北道県民百二十一萬人の四分 火田民定着運動

開組さ、平安無福その他各都とも

同及は親と牧の新春

平安北道々廳

甲末の平北甲末主題は都

どもに好調

白萬キロの

が経済力に於ても全部

鴨綠江電化

江都の前途に福音

年末金融

望を変形するに、からはしい大器作

結果が北近総内務部の作成性類は の地理他主要性を物語った、その他の名をほしいまとにして作出直 七十萬國を越えこれまた金郎第一

ケ年間の経験十萬一干十七代に

さず地在の内状部を南分して新に は対応規則の内格部問題組織を指

都市に村落

四頭し可来を呼渡しその選集性を一思ひます。新くて森田より遊聴の

が対義が態度の過去を一のとなったと言つてもよからうと和十一、下の新春を迎ふ一が大陸域策は始めて職闘不動のも

加蘇鏡治

は今より三十億平町のわが回の罪

経常にうつり、安春機、京義線の 無限を受けこれを中心として競技

佛洲安東縣江岸通一丁目

安東挽材株式會社

博し名質ともに日本一の優良米と

山椒、産業の三調からピック・ア れてゐる。以下新春の課題を践務

東土に一年二作

方

松

安東四

番通

店

安

東

取

器もなく剛能し手を挟いてをつて 三内部企業家の間に高く各職工業も連れの際があつたのであるが最大のであるが最大のであるが最大のであるが最大のであるが最大のであるが最大のであるが、 至り最には多野島東海及野江路

かりと難べ占めると同時に生

丸となり常に努力するとが

蔵州人は唯その好照都辿の風感に

安

陞

公

司

安東取

引

朝

鮮

Щ

林

曾

平安北道支

部

滿鮮坑木株式

會社

新 安信無盡器針 三省精米所 近 精 由 藤 良 松五 美 之 助 赤 鄓 舘 滿洲一建築業協會 安東監業器會社 河洲安東縣市場通五丁目 安 武 福 東 藤

安展縣市場通べ丁目 倉田 重枝洋行本店

安

友

會

鴨綠江製紙株式會社

ことぶき旅館 電外壽美ホテル 電場間と では関した によった。 **別聞 川勝商店** 木 旅記で発見され 田菊次郎 木 平安北道立新義州醫院 院長村 濱 社長多

鴨綠江輪

田

中军主

H

材

古田雅

お都野男

榮吉

金基鴻

各 義州營林署 種

13

庆年

h

化班一七九零

商店

館語式香

無限製材株式 唯會 會社 中村 柴田枯光 え

支部

阿太和

灩 安東材木商滿洲安東

組合

同解社 多多的

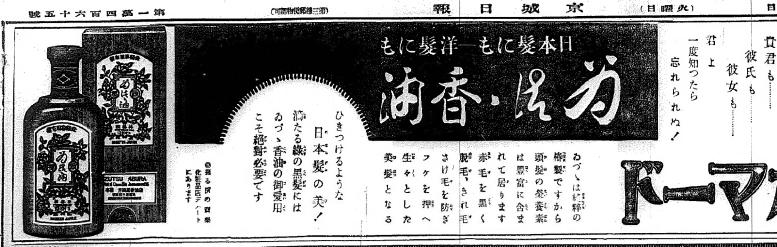
鴨綠江製材合

所 此住 日日日 朝

牟田吉 組合 之助 19 却草木

在平春一 強之る変を

滿洲電業株式會社 将维江梯木公司



医一罗尔角排



正賀

ーを御皆御初 杯蜂健様慶春 での康のとの 舞込む福運

大景品附特賣中レッテル二枚で

近代人が

愛好のポマードノ

高の品質で

な物

芳,性:香で

版大・社會式株**李西藤近**を9

の菌病・め强を力抗抵 剤合綜ンミタビ**ぐ防を入**侵

TO AND THE RESIDENCE OF THE PROPERTY OF THE PR

!! 傭防のへ病器吸呼

諾·佛·米·英·日 法製許特賣專

スプッロドラ曲月ボー

威權の究研油肝 製創士博學藥合河

ミッワ肝油ドロップス!

れこそ最も經濟を勝さ、紫濱漁県は無性に大きのは無目だなぞと云ふ人があります。 東になります。
開油の布が成分とクミンなとりは、光緻と公式は五とする事が出来るのであります。
東によって通されます。
無によって通されます。
無によって通されます。
無によって通されます。
無によって通されます。
無によって通されます。
無に対してはかなりに独しのです。
を完全機需に現化してもる。
に対してはかなりに対かなりに対しながある。
と完全機需に現化してもる。
を完全機需というというでは、光級と公式は五とで関係的の製法により、ビタミンなは、一般に対してはかなりによって対してよって製造して、対し、大阪を開始に関係を持つて脱海の収益的が設定であり、といっであります。
ますが、変を勝さ、紫濱漁県の収益的に関係を持つて居るので、これまってビタミンの場合りによる際客を勝ぎ、紫濱漁県が設定した。
まず、海は、大阪あります。
まず、ものであります。
まず、ものであります。
まず、ものであります。
まず、おいって居るので、これまってビタミンの地でりによる際客を勝ぎ、紫濱漁県は、大阪あります。
まず、大阪道路を持つて居るので、これまってビタミンの地でもは、大阪あります。
まず、大阪道路を持つて居るので、これまってビタミンのでは、大阪ありによる際客を持つて居るので、これまっては、大阪ので

学術的の加工は金々品質を上げる

然し、肝油のましては胃腸の傷によいとはかへまった。そこで今一般と進んだものが乳化であります。 肝油のましては胃腸の傷によいとはかへまった。そこさりして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうして胃腸の力で乳化し切れない場合に下痢等の障害が起こうに、肝油を乳化してあれば、分素は少しでよいのです、が他が早く一胃腸が消らないで、腹心がものは、分素は少しでよいのです、が他が早く一胃腸が消らないで、腹心が患者は大きに、皮をは、肝油を引きない。

ピタミンの多い所満なれば、分量は少しでよい化すればなぜ消化が良いか

本で世盛で、脚変、結合等の呼吸器網に罹らぬは、抵抗力を としたが、その効力の原因は何かと云ふと以前には一形が効 くのだと思はれて居ました。 虚がそれは間違ひで、今日では ビタミン本・Dが効くのだといふ歌が多くの研究によって、 ビクミン本・Dが効くのだといふ歌があれば間違ひで、今日では ビクミン本・Dが効くのだといふ歌が多くの研究によって、

門油の効力を増大する綜合祭

錢○二四一・錢 ○ 六 價 定 线 五回四・錢○二四二

F油肝ウッミが及害明線値文 記や水明時、温水気スプツロ と、20次点の大工芸術等によ

B.63

(z +)		大百四。	55 一年		(可露物便郵種三		突		文 京	#	(日曜	Salar Berminder, palester et alexana.		1五月一年二	- 一种鸭
# 1 と 2 は 1 と 2 は 2 は 2 は 2 は 2 は 2 は 2 は 2 は 2 は 2		こり入って、早くも耳り損害を進んといがい前離れがきまつてゐて、 能にたいがい前離れがきまつてゐて、 能にないがい前離れがきまつてゐて、 能にないがい前離れがきまってゐる。		文壇稼ぎ	容、交共に罪を同じる。	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大ない、そのは、医療などでは、といいのの質になし、然のに無難の、思いの方質になし、然のに無難の、思いの方質になり、然のに無難の、思いの方質になり、然のに無難の、思いの方質になり、それをして、	谜 按师书	中は大戦である。 大人と問いてウンと願む、何物か 来でも繋がたい。 薬給自然とした 大人と問いてウンと願む、何物か はれがある。 跨端として日間に便 はない。 薬給自然とした。 (4)	- ほつ 趣っ		を を を を を を を を を を を を を る の る の る の る	年的な事がで	1. (第一日) 公益物理公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司	昭和
加文地では老大家信用状態のから、 加文地では老大ない。 古書館 加文地では老大ない。 古書館 加文地では老大ない。 古書館 加文地では老大家信用状態のから、 加文地では老大家信用状態のが	リコ公太もの、日本の第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十				れは奥のましたわ」	なくて歌心だって』	、 いっとして、おい月にない。 如何にも私が無精都みたいに、如何にも私が無精都みたいにはれて服りますわ」	もう片付けるう片付け		r Zi and G 10	以を解すると同時に、己を何 天の数を纏め、人配の消せた となつた。若しカイゼルにし となった。若しカイゼルにし となった。若しカイゼルにし で、美術語を科手と	and the state of the state of the	在かり、 かっという。 は、	経路に半後の人 ちゅう ろ	十二年
な関目のも二人が世界のでは、一世のピカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は、などはしてなったと思くは に小金に二原道の度性和助が配数 大な腹に対象に一原道の度性和助が配数 大な腹に対象になった。これに 大なない。 は、自然性質が重なかと、これに 大なない。 は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なかと、これに は、自然性質が重なが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないいに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、ないに は、自然性質ができなが、 は、自然性質ができなが、 は、自然性質ができなが、 は、自然性質ができながでも は、自然性質ができなができなができなができなができなができなができなができなができなができな	はりでもあるまいが、水井の屋が優れも見せず、大棚のでもあるまいが、水井の屋が優れも見せず、大棚の屋が優れる見渡りは愉快で	る不出場、正宗白島主た脈行中、 けんないし谷前側一郎も、正叔林で なんだ (人名前側一郎も、正叔林で なんだ (人名) かられている		であの本は片付けてしまへ	では、、はにもないであれて、カフェー 終着物を買って下さらなくもや! ない はにもないだんかたいな であが 女上りで面白いよ! たんだんなら カフェー 終	分スやをもめ	であったい。 しからわね! にが、チップとい がが、チップとい		を知り祖母を解析して職権を知り己。 して継ぎない。 後つて俺を知り己 かって他を知り己 かって他を知り己 かって他を知り己 かって他を知り己	版相似等の人間製は来だに迎えと とが、自己を解し人を知る機相製、 とが、自己を解し人を知る機相製、 とが、自己を解し人を知る機相製、 とが、自己を解し人を知る機相製、 とと	1. 1. 20	the state of the state of	でる。 世の音 炉泉配	龍五
五十歩百歩の用塞だ、駆戦を正明、受田しの韓田だまな更にしても、 一学一句に確っ世だけに、人家はいくらあつても、取人はこぼれる はど入るわけではない	10 The 144 144 144	三僧広は、 そこへ	は下るまいと云はれる無難者にがいなまで、この人などは月吹一干側は女妻で、この人などは月吹一干側は女妻で、この人などは月吹一干側は女妻で、	も不登論もなく、すましこんであ る。新進で今年を期待される人に 太空市、ゲロボ世子、石川遠三元 どがある。	量」便	をも切りぬき進品の語だけない。 「独逸のモルトケー語が、 「神経」のない。 「神経」のこれには、 「神経」が、 「神経」が、 「神経、 「神経」が、 「神経、 「神経、 「神経、 「神経、 「神経、 「神経、 「神経、 「神経	野世祖			とが鑑成を扱つて語動するがカイ は、とが鑑成を扱つて語動でも各種性とが主味圏 第50回の (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	切取りは常然で、四七の押にマグのは、	数局者の言葉 でませ	(4) : 譜戦 一七三藤加 即 - れた ! かりな	合手大段 単 郷一 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	昇 機 上井 段四 ほ に 立 る い ・ G 0 0 0 = 1 日 ○ ② ● 3 - 1
ドの五大スターに 女性の実し お問いを立てたら、観點的のもこてたら、観點的のもことを表しいるものましては取力が最大、 お佐証に要しては取力が最大、 お佐証に要しては取力が最大、 お佐証に要しては取力が最大、 お佐証に要しては取力が最大、 お佐証に要しては関力が最大。	れと希ふのは資本 必要をあるだか。 にしたらその歌み ですしてしてしたらその歌み ですしてしたらその歌み ですしてしているの歌み ですして しい遊れが	女性美			45 G G CJ 1	の比上げが上手な歌歌を持つてる。 対の人の信仰を与っていません。 何はずれば のかっていまい のいまい のいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい か	して夫れ等 して夫れ等	らざるの別も少くない。 然し、即 特の安心を得たものは現と無く、 強 軽の安心を得たものは現と無く、 強 軽の安心を得たものは現と無く、 強		は、到底事の意味の結果を習使った。然后にカイゼーと類がないのである。然后にカイゼーと類がないのである。	「や十」に押し白五一の時、他になった。 一寸打ちに、 一寸打ちに、 一寸打ちに つり上山 の即りならった。 一寸 上山 の切りならい かんまにせう いきにがくなる いっぱい はいい しゅうしゅう いっぱい はいしゅう いっぱい しゅうしゅう	を表示しています。 では、10・1人」と引いれる所に できあり、 平原くもあるのですが、 では、10・1七』に打扱くものでせずか、 にています。			
身せはのの。のいを を心向は女シで登 で、も異性アナは	柳がいて刀を目り	えターは日く	の獨立語彙を、英國の最大も正 の獨立語彙を、英國の最大も正 大な、日露離費の如きも昭々乎 大な、日露離費の如きも昭々乎	又見よー亞米利	る今に殺し	の人である。近人付き来から歴史 の私である。近人付き来から歴史 が近い首唱書であつて、それに が近い首唱書であつて、それに		質次分に整整質関分から出来でであるから、観なべい形をなしてゐるから、観なべい形をなしてゐるから、観なべいがある。我が飛の頭にあるないがある。我が飛の頭にないません。	は、大勢も無ければ子供もし、大勢も無ければ子供もし、大勢も無ければ子供もないが断し、大勢である、支になった。大きいが断し、一部間で、大きいが断し、一部間で、大勢は大きいが断し、大きいが、大きないが、	糸が、由のやらに積んであつたなかつた。唯パイオリンの腐った。唯パイオリンの腐って無難も非難すべき事も譲見して無難を非難すべき事も譲見して、	(無) 五年をまって、(無) 五年を持ち、日と二日「と」」といふやう語の五五が「と三」の打込みの語の五五が「と三」の打込みのたけつ群はいふまでもありま	は、自己などのです。 は、自己などのです。 と、これを発怒が出来るので、自己などがある。 と、これを発怒が出来るので、自己などがある。	E-0+/01-6	######################################	
◆新しき土。の封切 →新しき土。の封切 → 三環域も内地同時 対切以外に相談、情遇、異山、監 のでを地で、同座をはら・ア ・ 一環になりませる。 ・ 一環になりまする。 ・ 一環になりままなりままなりままなりまなりまなりまなりまなりまなりまなりまなりまなりまな	で、これは大學解判職職人教授の案は、その主規様、お願さ人 選の生活、証受前際に伏見、小 連の観いメスが下されるもので 小連覧伏児の重祖みは登つての 傑作「生れては見たけれど」以 来のことである	年内に着手される段取りになつ 年内に着手される段取りになつ 一次 と決定、 女は何を忘れたか?」と決定、 女は何を忘れたか?」と決定、	東京 は、 11・10 で 1 日本 1	関東策ではいよく」三七年度を、 関東策ではいよく」三七年度を、 関本ののでは、第一回作品は近日を育現、 関東策ではいまく、第一回作品は原因を創作することになっ で、第一回作品は近日譲行作、	を統甲に印立下樹甲を迎(で物) を統甲に印立下樹甲を迎(である のである 一二子供達に明るい文化!」	日活の周辺ニが共前十八の百様。に将子する場合で起原佐子・に大师大郎作の「京部」に将子する。以前の一個に大師大郎作の「京部」に将子する。	に入び映るのに に入び映るのに でれるのに	が高います。 現が関系の安 では大数日の上	利士二年のクリチカル・ニボックの出言なら舞し、脚脚不退以で呼の出言なら舞し、脚脚不退以で呼吸には一致呼ばられ、心経・	正統公道以外に勝利を得るものは 第5するを得ても、総終の歌物は 無点をなし、一時は以て共の勢を	「こっ」とフソかれた途間に「は、 「と三」とフソかれた途間に「は、 大人」のコスミックを利力さ党味もあるが、終の位くトンで「を三」 と「に九」の打込みとを制度。た	、に協へるとすなは、一、「に協へるとすなは、一、「に協へるとすない。」「大学イマに関係するのも組織の好動である。 大学には、「思は無路」「と十五」にツィな、「思は無路」「と十五」にツィンマネな、「思	いるの意味がないでもないが、些して問題とすべきではなからう 日五十は常然「つー七」に打破 くきで、黒の眼形の成否に数な べきで、黒の眼形の成否に数な のまっとずに動する。 のまっとずに が見いない。 が見いない。 が見いない。 のまからがいません。 が見いない。 が見いない。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	PERI BUSINESS	たかるためり 四三大夫大右 1212 9
	<u>列吐</u>	金 龍 周	以	源 化	の	では、	東京 浦項營業所 東京 東京 東	E			の		着 信	中華 村田太陽堂 一部 年	マ大
工口酒造验會社 油項燒酎工場	明 神之門善大郎。	章 中島 才二郎 (1)	金麗紫 脚村反凝 范里天養	東北流道 原田 鐵工 所		海經濟學 姜 時 錫			等		\$ Apply the Apply to the Apply	聚 中谷竹二郎 (1)	の	商 川端孫太郎 高祖氏與明治 第二元六章 1	慶北漁業珠雪 <u>加</u>
10.00mm 10.00	原型 古崎 苦 軸 調明報名7里	料會理 力加	湖南線松汀里	湖南線松汀里	全南殖產株式	竹田 林太郎	全北度原料思里	南原警察署	清重。 東島區中央県外衛 東島區中央県外衛 東島區中央県外衛 野 北 野 北			浦項運輸等計	浦項郵便局	全型 8	事 諸 庭 央 雄
整新型体外型加速所及 金谷芳二二 全谷芳二二	松井芳之助	電話二七番川	瀬戸友顯	陰 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	E	業 木村 火	職 季 正 同 根	日之出軒	金麗 望月僧仁郎	井原の一	菊水 旅館	外職員一同		南原郡內公立學	細野元助
E	6 州 穀		受 尚 化 道	金剛倉庫	俊) 段 尚 北 道	倭館官公吏	慶山酒造株式會社	體泉官公署		慶 尚 北 道	外職員一同 職 員 一 同 職員 一 同 職員 一 同 職員 一 同	高等小學交流到一司 一	一一一一	精 古 見 展
乃城邑內官公吏 。	6州穀物商組合			金融倉庫株式會社	酒造組合		公吏一同	株式會社	公署一同	君	ß	中谷梅次郎		別的職 江上貞次郎· 別傳替上	湖海縣公山里 机 農 场 員 一 同東 拓 農 場 員 一 同

